

**第7回 (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会
議事要旨**

【開催日時】 令和7年3月21日(金) 午前10:00~12:00

【開催場所】 上三川町役場 仮庁舎 2階 会議室

【出席者】

(1) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 参加者

上三川町議会 議員

議会議長	稲川 洋
議会副議長	小川 公威
議会総務文教常任委員長	田崎 幸夫
議会産業厚生常任委員長	志鳥 勝則
学識経験者	宇都宮大学准教授 長田 哲平
商工会 代表者	会長 鶴見 秀昭
観光協会 代表者	理事 猪瀬 敬
宇都宮農業協同組合 代表者	代表理事常務 見形 繁
自治会長連絡協議会 代表者	副会長 飯田 清
認定農業者協議会	会長 古口 雄一
女性団体連絡協議会 代表者	会長 鈴木 美恵子
消費者友の会 代表者	会長 北條 久男
日産自動車栃木工場	人事総務部長 山本 裕美
一般公募	塩谷 二郎
一般公募	花井 沙野佳
一般公募	佐藤 広子

(2) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 オブザーバー

国土交通省 宇都宮国道事務所

計画課長 鶴巻 尚

栃木県

宇都宮土木事務所 次長 牛久 益雄

(代理) 企画調査部 企画調査課

部長補佐(総括)兼課長 神山 雅行

栃木県河内農業振興事務所 次長兼企画振興部長 上野 臣一

宇都宮市

建設部 技術監理課 課長 桑久保 佳宏

(代理) 課長補佐 水沼 尚子

道路建設課 課長 鎌田 淳

(3) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 事務局

上三川町

商工課 課長

保坂 武志

商工課 課長補佐

枝 博信

商工課 道の駅整備係長

長井 建治

商工課 道の駅整備係 主査

林 光大

三井共同建設コンサルタント株式会社

岡部 義諒

三井共同建設コンサルタント株式会社

日沼 千紀野

【議事】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

(1) アンケート・懇談会で頂いたご意見について

- ・ ①における加工所について、道の駅内に整備しない場合の加工・製造を行う「別の施設」とはどういうものを想定しているのか。
 - 農村環境改善センター内の加工所や、民間の加工施設などを想定している。(事務局)
 - 農村環境改善センターの加工所は老朽化が進行しているが、改築等の計画があるか。また、目玉となる商品開発について、想定しているものはあるか。
 - 農村環境改善センターの加工所について、現時点で手を加える等の計画は無い。商品開発については、地元事業者や今後決定される管理運営者と連携していくことを想定している。(事務局)
 - 他の道の駅の事例を見ると、地場産品を利用した商品開発を行っている。商品開発は重要であるため、十分に検討いただきたい。

- ・ 道の駅で商品を見たとき、他県などで製造されたものだとお土産としてがっかりする部分がある。道の駅内で販売する商品は上三川町内で加工・製造することが望ましい。
 - 商品開発は、町内事業者の協力を得ながら行っていきたい。(事務局)

- ・ 道の駅内に加工所があることにより、専門の事業者のみならず、一般の方が加工した商品の販売もでき可能性が広がる。ここはぜひ検討いただきたい。
 - 町内で加工所が不足していることも考慮し、若い人がチャレンジできるような環境を整備することが望ましい。
 - 始めから大規模な加工所を設置するのではなく、まずは直売所のスペースを利用するなど、実績を作りながら、段階的に進めるのが良いのではないか。
 - 加工所の設置については道の駅の運営に係るため、今後、民間事業者への条件として要求水準に加えるべきか検討いただきたい。
 - 上三川ブランドの取組を行っていた際、魅力的な特産品が多くあると感じた。事務局はアンテナを高くして、道の駅の商品について検討し、それらを運営事業者に発信していただきたい。

(2) (仮称) 道の駅かみのかわ基本計画 (案) について

- ・ 二輪車駐車場について、道の駅しもつけではコミュニティの場所として利用されている。安全性を確保しつつ、コミュニティの場として利用できる配置が望ましい。また、近年はバイク人口が増えているため、広い面積を整備することが望ましい。
→ 道の駅では、バイクを所有している方のオフ会なども想定される。その場合、地域振興施設から離れた場所でも良いのではないか。

- ・ 地域デザインセンターについて、大学が道の駅に研究拠点を設けることは現実的なのか、また、その場合には面積 120 m²では不足するのではないか。生涯学習機能であれば、他の施設で補えるのではないか。もう少し内容を精査した方が良いと感じる。

- ・ 地域デザインセンターに調理室などがあれば、親子での利用も考えられ、地産地消にも繋がるのではないか。

- ・ 徳島県にある「道の駅 くるくるなると」では、道の駅内にあるジップラインが有料で売上に貢献している。基本計画 (案) の大型遊具は有料化も想定しているのか。
→ ヒアリングを行った民間事業者の中には室内遊具の考えもあった。仮に屋内遊具が設置される場合、独立採算施設として有料となることが想定されるが、公共施設として、無料で遊べる遊具の設置は必要であり、行政側の視点としては、施設イメージなど有料の遊具は設定していない。(事務局)
→ 基本計画 (案) の大型遊具の施設概要欄に有料遊具との記載がある。
→ 町側が負担する形での有料遊具の設置は想定していないが、民間事業者の独立採算施設としての提案は十分にあり得ると考えており、それらを阻害しないことを意図し記載している。(事務局)

- ・ イベント広場の概要で、露店やキッチンカーなどの記載があるが、他の道の駅のイベント広場では 1 店舗も出店されていなかった話を聞いている。出店料等の要因があったようだが、そのような状況にならないよう、十分考慮してもらいたい。
→ コンテナハウスやキッチンカーの出店費用など、今後の運営者との調整の中で配慮していきたい。(事務局)

- ・ 利用者ニーズ調査からも加工所の必要性が伺える。再度検討するべきである。
→ 加工所とキッチンスペースなど、こういった形態が望ましいか。
→ 道の駅内で加工品など、「作る」スペースは必要と感じる。

→ 加工所のような大々的なものでなくても、ミニキッチンのようなものが設置されれば、家族での利用や学生の交流の場など、様々な利用が見込めるのではないか。
→ キッチンスペースについて再度検討する。(事務局)

・ 臨時駐車場はどのような利用を想定しているか。
→ 調整池内であり大雨時には車両を移動させる可能性もあるため、従業員駐車場等での利用を想定している。(事務局)

・ 民間事業者の公募時、町が示す条件はどのような形となるのか。
→ 事業者選定の際は要件水準書で条件を定めるが、要求水準書の基になるのが本基本計画である。そのため、民間事業者からはこの基本計画を踏まえた、提案がなされるものと想定される。(事務局)
→ 入札方式となるのか。
→ 金額も含まれるが、民間事業者からの提案を審査し事業者を選定する。(事務局)

・ 民間事業者の提案によって、配置計画は変更されるのか。
→ 基本計画の配置計画をベースに提案いただく想定である。(事務局)
→ 道の駅の目標売上など、明確な数値目標を設定することが望ましいと考える。
→ 事業者選定の際には、納付金に関わる部分も事業者から提案されることを想定しており、そういった部分も十分確認していきたい。(事務局)

・ 道の駅の大きな目的の一つとして地域経済の活性化があると考えている。行政から赤字補填が無いよう進めてもらいたい。
・ 工事費用は約 60 億円とされているが、用地費や建物補償費はどの程度を見込んでいるのか。
→ 用地費等について、今後、測量や不動産鑑定等を進めて行く予定である。
その結果は何かしらの形でお示しさせていただきたい。(事務局)
→ 用地費などが不明確なまま事業を進めることは見切り発車なのではないか。
現段階で想定している数字も全くないのか。
→ 根拠のない数字をお示しすることは難しい。(事務局)
→ 概算の用地費であれば、町道路などの用地買収の平均単価に、計画面積をかければ算出可能なのではないか。

・ 施設イメージについて、現実からかけ離れている箇所がある。修正すべきである。
また視点方向、方角等を示すべきである。
→ 修正させていただく。(三井共同)

- ・測量、地質調査などは、地権者から同意をいただいた上で実施するのか。
→ 協力いただけることを確認した上で実施する。(事務局)
- 道の駅事業想定スケジュールについて、より細かいスケジュールを提示することが望ましい。

- ・ジョイフル本田からの歩道橋を整備することは検討しないのか。
→ 現段階では想定していない。(事務局)

- ・モビリティハブは配置計画上、どの位置に想定されているのか。
→ エリア北側にバス停留所を想定している。(事務局)
- バス停留所には誰もが利用しやすいように、屋根やベンチを設置することが望ましい。

- ・基本構想・基本計画策定ワーキンググループの意見は反映されているのか。
→ 反映している。(事務局)

- ・用地取得費などが想定以上にかかる場合、道の駅の面積は縮小する場合もあるのか。
→ 事業面積は6.9haを想定しているが、仮に一体型整備となった場合は、道路管理者、町それぞれの整備区域を、それぞれが取得することを想定している。(事務局)

- ・民間事業者の選定は、基本構想。基本計画策定委員会で行うのか。
→ 別途、選定委員会を設置する予定。(事務局)

- ・サウンディング調査の個別ヒアリングで、15社から7社に絞った理由は何か。
→ 今回の調査においては、道の駅の運営に係る事項が重要であると考え、運営を主とする事業者に対しヒアリングを行った。(事務局)

- ・運営方式について、PFI方式で決定なのか。
→ 事務局としてはPFI方式を進めていきたいと考えている。(事務局)

- (事務局)
- ・今回いただいたご意見を踏まえ、資料の修正を行う。
それら修正内容について、再度、本懇談会を開催させていただいて良いか。
→ 異議なし

(3) その他

- ・ 次回の懇談会の日程については、早急に調整を行い通知させていただく。

5. 閉会

以上